番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
1	手話講習会「中級」 (福祉課) 講座の特性	手話の基本文法を中心に学び、手話の語彙を増やし、手話でコミュニケーションする楽しさを学ぶことにより、聴覚障害者の生活の安定と社会参加をサポートする手話奉仕員の養成を行った。 ①手話講習会「基礎」 開催日:平成25年10月22日~平成26年3月18日 全20回(毎週火曜日) 内容:聴覚障害に関する基礎知識、手話学習、講演会、聴覚障害者との交流	①市内に在住する 16 歳以上の方で、社会福 祉協議会主催の手話 講習会「入門」修了者 (定員 25 名)	①25 名	5	毎年定員を超える申し込みがあり、大変人気の高い講座である。受講者アンケートの結果、開催期間、時間、日時ともに最適だったという回答が多かった。手話は短期間で身に付くものではないが、この講座をきっかけに手話サークルへ入会する方も多く、今後に大変期待ができる。
2	認知症予防教室 (介護高齢課) 講座の特性 人材育成 土田雕 託児 親子参加	参加高齢者の「脳の健康」を保ち、「仲間づくり」や「地域社会とのつながり(社会参加)」を促進させる。また、健康づくり推進員(市民ボランティア)が「学習サポーター」の役割を担い、学習の援助を行うことで、行政の立場だけでなく、参加者により身近な立場から事業活動に参加し、参加者とともに双方が自発的な介護予防に取り組めることを目的とし、グループディスカッションを用いた交流や学習教材(読み書き、計算、すうじ盤)を用いた個別学習を通して、認知症予防や生きがいづくりを図った。 ① 毎週1回の全20回(6ヶ月間)	おおむね 65 歳の要介 護認定をうけていな い市民 (定員 30 人で 1 グループ 10 人制)	① 27人	4	一次予防対象者(公募)と二次予防対象者(介護予防計画に基づき事業を実施)、合わせて教室を行っているが、二次予防対象者 18 人中 13 人が最終評価で改善終了(72%)しており、効果的な事業を行っていると考えており、次年度も継続していこうと考えている。課題としては、6 か月という長期で関わっていただいている学習サポーター(健康づくり推進員)の負担軽減を図っていきたい。
3	高齢者の生きがいと健康づくり推進 事業 (介護高齢課) 講座の特性 人材育成 土田雕 託児 親子参加	高齢者が家庭・地域・企業等社会の各分野で、豊かな経験と知識・技能を生かし、 生涯を健康で、かつ生きがいをもって社会活動ができるよう、地域の各団体の参加と協力の下に、高齢者の生きがいと健康づくり推進の実践活動を総合的に展開することを目的とし、老人クラブ連合会に委託し、高齢者の社会活動についての広報活動、三世代交流活動、健康増進活動、教養講座の開催など総合的な企画、運営を図った。 ①高齢者大学:全6回開催 ②三世代交流事業 ③スポーツまつり	① ② 老人クラブ会員 ③ ②については、地 域住民を含む。	①295 人 (卒業生) ②15,073 人 ③580 人	3	昨年度と比較し、①高齢者大学の卒業生数及び③ スポーツまつり参加者数は若干減少したが、②三世代交流事業参加者数は増加した。また、老人クラブ会員数もわずかではあるが、昨年度より増加していることから、高齢者の生きがいと健康づくり推進に一定の成果はあったと考える。事業の更なる推進のためには老人クラブの基盤強化が必要であり、会員の加入促進を図ることが課題である。
4	認知症サポーター養成講座 (介護高齢課) 講座の特性 人材育成 土田雕 託児 親子参加 ● ●	認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくることを目的に、認知症サポーター養成を主眼に認知症の症状や認知症高齢者への接し方などを学び、本事業に賛同していただける方に認知症サポーターの証としてオレンジリングを付けていただき、認知症高齢者の見守り及び支援に参加・活動していただいた。 開催総数:31回(うち土日開催数:4回)	事業に賛同する者	総数 770 人 (うち土日 開催 69 人)	4	サポーター養成講座を初めて受講された方に対しオレンジリングを配布しているが、理解を深めるために複数回受講される方もいて関心の高さが伺える。サポーターは特別なことをする人ではないことを講座で伝えているため、気配り、目配りをしよう、優しい言葉をかけようなど 1 人 1 人、自らできることを自身で考えるきっかけとなっている。課題としては企業などに所属されている人との連携や今後一層の協働を図っていきたい。

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
5	65歳これから講座 (介護高齢課) 講座の特性 人材献 生H雕 託児 親子参加	市民意識を啓発し、市民活動への積極的な参加を促進させ、市民ひとりひとりが介護予防に取り組めるようにすることを目的に、概ね65歳の市民を対象に、「自分のこれからの余命約25年間をどのように暮らしていくか」を介護予防の視点から生活設計の再建築を考える機会とするとともに活動機会や学習機会を提供した。 1クール8回(総論編4回・実践編4回)年4クール	(定員 30 人/1 クー	総数 334 人 (実人数 64 人)	3	健康づくり推進員とともに教室開催したことで、 実践されている介護予防(健康体操、講演会など) を講座で紹介したり、健康観や価値観を共有でき た。協働することで、毎回、貴重な参加者目線の 意見をいただき、市の考え方の押し売りではなく 参加者自ら介護予防について気付く機会とする 講座になったと考える。次年度の課題としてはよ り多くの方に参加してもらえるものとしたい。
6	健康づくり推進員養成講座 (保健センター) 講座の特性	市民の健康づくりを組織的かつ継続的に支援する人材として「健康づくり推進員」を養成した。 開催日:10月10日、10月24日、11月7日、11月21日、12月5日、 12月20日、H26年2月6日 の全7回	一般市民	実 23 名 延 119 名	4	H25 年より参加者を一般公募したことで、参加の窓口が広がった。また、参加者 25 名中 18 名が登録に結びつき推進員活動に結びついた。より多く周知できる場所を探していきたい。
7	健康づくり推進員学習会 (保健センター) 講座の特性 人材 就 土田雕 託児 親子参加	「健康づくり推進員」が主体的に活動を実践するための、具体的な健康づくり知識の提供および活動意欲の向上、継続を図った。テーマ:ロコモ予防を楽習しよう開催日:11月12日、12月10日、H26年1月17日、2月12日の全4回	健康づくり推進員	延 116 名	4	例年通り推進員が学習できる場を提供できた。ロコモ予防の「はじまりの体操」の普及につながった。
8	環境学習出前講座 (環境課) 講座の特性	社会活動への興味・関心を抱かせ、活動への参加意識を高めるため生活排水、地球温暖化防止を題材とした環境学習の出前講座を実施した。 開催回数:「地球温暖化防止」 児童クラブ 7回 253 人、小学校 1回 65 人、一般 1回 20 人 「生活排水を考える」児童クラブ 3回 54 人、 小学校 2回 209 人	小学生又は一般	総数 601 人	3	主に小学校と児童クラブで出前講座を実施した。小学生に問題意識を持たせ、今後環境活動に興味を持ってもらえるような講座内容とした。

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
9	環境学習体験講座 (環境課) 講座の特性 人材献 土明艦 託児 親子参加 ● ●一部 ●一部	社会活動への興味・関心を抱かせ、活動への参加意識を高めるため、環境学習体験講座を実施した。 ①子供向け 開催日:7月29日(月)地球温暖化とエネルギー 22人 7月31日(水)とよがわの源流 24人 8月6日(火)三河湾の身近な生き物 25人 8月9日(金)里山の身近な生き物 16人 ②親子参加 開催日:7月13日(土)酸性雨を調べよう 17組(36人) ③一般向け 開催日:6月29日(土)廃食油からエコキャンドルを作ろう 27人 11月3日(日)里山で身近な生き物を探そう 15人 11月23日(土)エコクッキング講座 31人	小学生又は一般	総数 196 人 (うち土日 開催 109 人)	3	小学生及び一般を対象に、環境学習体験講座を実施した。講座に参加したことをきっかけに、問題意識を持たせ、今後環境活動に興味を持ってもらえるような内容とした。
10	観光まちづくりゼミナール (商工観光課)講座の特性 人材前は 土田雕 託児 親子参加● ●	平成25年度に開催される「B-1グランプリ in 豊川」で活躍するボランティアリーダーと豊川市の「まちおこし」で活躍する人材を育成するため、参加体験型講座を実施した。 開催回数:10回 (うち土日開催数:10回)	この地域をもりあげ たい中学生以上の方 (200名)	総数 292 名 (うち土日 開催 292 名)	5	11月に開催した「B-1グランプリin豊川」では、観光まちづくりゼミナールを修了した観光ボランティアが大活躍しました。 その後に開催された「豊川いなり寿司フェスタ」などのイベントでも観光ボランティアによるおもてなしが展開され、おもてなしの意識が醸成されたため。
11	地域生涯学習講座 (生涯学習課) 講座の特性 人材育成 土田 開催 託児 親子参加	各生涯学習会館等で、各種講座を開催し、市民の生涯学習の活性化を図った。 開催回数:703 (うち土日開催数:210)	市民一般 (各講座により定員が異なるため記載せず)	総 5,889 人 (うち土日 開催190 5人)	5	平成24年度に比べ、27講座が追加され、市 民の選択の幅が広がっている。各種講座の開催を 通じ、市民の生涯学習の活性化が図られている。
12	親子ふれあい工房 (生涯学習課) 講座の特性 人材育成 土田雕 託児 親子参加	親子など家族で参加できる講座の企画・開催した。開催回数:6回	小学1~3年生の 児童とその保護者(各 回15名)	143名 (計72組)	4	講座内容によって受講者が集まらない回があり、ニーズを踏まえた内容の講座提案が必要

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
13	ものづくり教室 (生涯学習課) 講座の特性 人材育成 ±H 開催 託児 親子参加	学校週5日制の実施に伴い、余暇を利用した様々な体験活動を実施することにより子どもの地域活動を推進するため、豊川少年少女発明クラブ、豊川工業高校ボランティア部と協働し、ものづくり教室を開催した。 開催回数:12回	小学4~6年生の 児童(各回32名)	338名	5	平成24年度より参加者が27名増加した。リピーターが多く、兄弟参加も多い。製作物が毎回違うので、受講者からの評判も良い。
14		市民に広く参加を募り、演劇専門講師の指導のもと演技力・表現力を培う講習を 行った。 開催日:3月から9月の7ヶ月間、月8回程度	小学生以上	30名	4	年代的にも経験的にも幅広い参加者を獲得した うえで、充実した内容のワークショップを展開す ることができ、公演も成功裡に終えることができ た。
15	防犯ボランティア講座 (人権交通防犯課) 講座の特性 人材育成 土田雕 託児 親子参加	防犯ボランティアの育成、防犯活動の充実及び防犯意識の向上を図ため、講師を招き研修会を開催した。 開催日:平成25年12月7日(土) 愛知県主催 豊橋市と合同開催会場:豊橋市役所 東館13階講堂 講師:愛知県セルフガード協会 仁科満紀子氏	市内防犯ボランティア団体	豊橋市 50名 豊川市 34名	4	防犯活動の仕方やパトロール時のポイント等、防 犯活動をする上での参考となり、防犯意識を向上 にも繋がった。
16	男女共同参画の推進に関する講座 (人権交通防犯課) 講座の特性 人材前は 土田雕 託児 親子参加 ● ●	家庭や職場、地域などで社会的・文化的な男女の習慣に囚われることなく、「自分らしく」生きることのできる男女共同参画社会の実現を図った。 ① 人権・男女共同参画講演会 開催日:平成26年3月1日(土) 会場:豊川市文化会館 大ホール 講師:笹野 高史氏 「人と人との絆、そして家族との絆」 ② エンパワーメント講座「成功する女性になるために!」3回 ③男女共同参画協働型事業I「Nobody's Perfect 完璧な親なんていない!」6回 ④男女共同参画協働型事業II「女性だけの心理学 自分でする『こころの手入れ』」5回 ⑤ デートDV防止研修会 2回 ⑥ パートナーシップ推進出前講座 6回 ⑦ 男女共生セミナー I 「おじいちゃん・おばあちゃんのための孫育て講座」 ⑧ 男女共生セミナー II 「ロジカルシンキング講座」 講座会場 ウィズ豊川・勤労福祉会館等	学の方(1,300名) ②市内在住・在勤の女性(各回20名) ③1歳から2歳半の子を子育て中の親(各回12名程度) ④市内在住・在勤・在	②25名 ③75名 ④108名 ⑤192名、 314名 ⑥131名 ⑦16名 ⑧31名 <託児> ①2名 ③71名 ④12名 ⑦1名	5	高校生から祖父母まで幅広い世代を対象とした講座、講演会を実施し、男女共同参画意識の啓発を行うことができた。

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
17	NPO スキルアップ講座 (市民協働国際課) 講座の特性 人材献 出雕 託児 親子参加	ボランティア・市民活動団体向けのスキルアップ講座を行い、活動のより一層の活性化を図った。 ①「コミュニケーショントレーニング」 開催日:3月2日(日曜) ②「人を育てるコミュニケーションマインド」 開催日:3月9日(日曜) 講師:NPO 法人日本教育養成学会 理事 青嶋 宮央(①②とも)	①②ボランティア・市 民活動団体活動者 (定員 30 名/各回)	①23 名 ②20 名	4	受講者アンケートの結果1回目は約94%、2回目は100%の方が今後の活動の参考になったと回答があり、講座のテーマや講師の選定は良かった。ただし、定員に対していずれも3分の2程度の参加者であり、広報の仕方や開催時期に改善の余地がある。
18	ボランティア・市民活動体験・養成 講座 (市民協働国際課) 講座の特性 人材育献 土田雕 託児 親子参加 ● ●	「とよかわ市民協働基本方針」に基づき、ボランティア・市民活動へ理解や参加を促進するため、様々な分野で積極的に活動している、ボランティア・市民活動団体に、講座の企画・運営を委託して、体験・養成講座を実施した。 ①「ミニクリスマスツリー作成体験」 実施団体:げんき会開催日:11月23日(土曜)	①市内在住・在勤・在 学者 (定員 40 名)	①40名 (託児) ※幼児参加 も可能な講 座のため、 託児は行わ なかった	5	参加者が定員に達し非常に好評であった。企画した「げんき会」とは意思疎通がしっかりとでき、よい協働ができた。今後も団体と協働して、講座を実施していきたい。
19	コミュニティリーダー養成講座 (市民協働国際課) 講座の特性 人材献 生H雕 託児 親子参加	コミュニティ活動のさらなる充実のために、コミュニティ活動におけるリーダーに対して、コミュニティ事業の企画・運営に必要な知識や技能を身につけ、地域活動組織の中核となる人材を育成することを目的として、講座を実施した。 ①「地域づくりの事例(大山自治会)『まちづくりって、こんなにおもしろい!!~みんなで創り、生み出す地域の未来~』」 開催日:11月23日(土曜) 講師:立川市大山自治会長 佐藤良子		105名	4	受講者アンケートの結果 92%の人から面白かった・ためになったと肯定的な意見をもらえた。町内会の役員が参加し易いように土曜日に開催した。今回はコミュニティ組織向けの講座ではあったが、コミュニティ数に対して参加者少ないので、広報の方法に改善が必要
20	本のリサイクルフェア (図書館) 講座の特性 人材育成 生日雕 託児 親子参加	図書館の蔵書で一定の基準に基づいて除籍された本や寄贈本について、リサイクルを図るため、市内の学校や保育園、公民館等の公共施設及び、市民や図書館利用者等個人を対象に、リサイクルブックフェアを開催して、図書資料を無償で提供し、有効利用を図る。また、ボランティアの協力を得ることで、図書館サービスの協力体制を作り、市民との協働を図る。 ①リサイクルブックフェア(団体対象)開催日:2月17日(月) ②リサイクルブックフェア(一般対象)開催日:2月19日(水)	設・団体、小中学校、	①92 団体 ②531 名	4	除籍本、寄贈本の有効利用を図ることができ、ボランティアの協力を得ることで、図書館サービスの協力体制を作ることができた。 今後も、除籍本等の有効利用を図っていきたい。 開催時期、日数については、検討が必要。

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
21	子ども読書のつどい (図書館) 講座の特性 人材が 土田雕 託児 親子参加 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4月23日の「子ども読書の日」~5月12日までの「こども読書週間」にちなみ、子どもたちが本・読書・図書館に親しみ、積極的に読書活動を行う機会をつくるため、子どもから大人まで楽しめる「子ども読書の日のつどい」を開催。 ①「いつでもおはなし会!」 開催日:4月12日(金)~14日(日) 協働団体:中央図書館おはなしボランティア6団体 ②「手づくり絵本のワークショップ」 開催日:4月13日(土) 協働団体:すみれ絵本の会	①子ども〜大人 (定員各回 100 名) ②子ども〜大人 (定員 30 名)	①227 名 ②30 名	4	「期間中は、いつの時間帯でもお話が楽しめる」という、利用者の認識は広がったが、終日おはなし会を開催するに当たり、通常は午前中を中心におはなし会を行っている会に、子どもの少ない午後にもおはなし会を実施して頂くため、通常の会の参加数より少ない傾向があった。そういった場合ボランティアのモチベーションが下がってしまうため策を考える必要がある
22	文字・活字文化の日のつどい (図書館) 講座の特性 人材献 土田雕 託児 親子参加 ● ●	10月27日の「文字・活字文化の日」~11月9日までの「秋の読書週間」にちなみ、市民に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めて頂くため、子どもから大人まで楽しめる「文字・活字文化の日のつどい」を開催。 ①「いつでもおはなし会!」 開催日:10月26日(土) 協働団体:中央図書館おはなしボランティア7団体 ②「朗読会」 開催日:11月3日(日) 協働団体:豊川朗読の会	①子ども〜大人 (定員各回 100 名) ②大人 (定員 50 名)	①123名 ②53名	4	「期間中は、いつの時間帯でもお話が楽しめる」という、利用者の認識は広がったが、終日おはなし会を開催するに当たり、通常は午前中を中心におはなし会を行っている会に、子どもの少ない午後にもおはなし会を実施して頂くため、通常の会の参加数より少ない傾向があった。そういった場合ボランティアのモチベーションが下がってしまうため策を考える必要がある。 朗読会は、耳からのお話を参加者は楽しんでいるようで受講後のアンケートは、特に高齢者からの満足度が高かった。
23	手作り絵本講座 (図書館) 講座の特性 人材育成 土田鵬 託児 親子参加	世界に1つだけのオリジナル絵本を作ることで、本に興味を持ってもらう。 講座で仕上げた作品は3月にエントランスホールで開催する「すみれ絵本作品展」で展示をする。 「クリスマス手作り絵本」講座 開催日:12月7日(土) 協働団体:すみれ絵本の会	市内在住の小学生 (定員 20 名)	16 名	4	小学1年生~6年生まで、幅広い子どもたちが想像力を駆使したオリジナル絵本を作っていた。 作成後は作品を図書館に展示するため、子どもたちは自分の作品を大事に取り扱っていた。
24	親子紙工作教室 (図書館) 講座の特性 人材献 土田雕 託児 親子参加	夏休みに親子で植物や動物などの自然をモチーフにした立体工作を作ることで、 親子間のコミュニケーションを図る。 「親子紙工作教室」講座 開催日:8月23日(金) 講師:黒宮節子さん(カミキリムシの会)	市内在住の小学生親 子(定員 18 組(親1 名に子ども2名まで)	18組41名	4	親子でコミュニケーションを図りながら楽しい 部屋飾りの作品を作成していた。 仕上がった作品は、夏休みの宿題として兼ねる子 どももおり、子どもたちは自分の作品を大事に取 り扱っていた。

番号	講座名 (主管課等)	事業目的・実施内容	対象者 (定員)	参加者	自己評価	自己評価の理由
25	絵本で子育て講座(図書館)講座の特性人材前成 土田雕 託児 親子参加●	ブックスタートから次にステップアップするために、4カ月~12カ月までの赤ちゃんとその親を対象とした、絵本を使って親子のコミュニケーションを図る講座を開催。 ①前期「絵本で子育て楽しんでみませんか」 開催日:6月7日(金)、14日(金)、26日(水)全3回協働団体:子育てネットワーカー ②後期「絵本で子育て楽しんでみませんか」 開催日:11月29日(金)、12月6日(金)、11日(水)全3回協働団体:子育てネットワーカー	市内在住の、4カ月~ 12カ月までの赤ちゃんとその保護者、妊娠中の方 ①定員各回 20組 ②定員各回 25組	①58 組 ②66 組	4	毎回、定員以上の募集があり抽選となるため後期 については、5 組増やし少しでも多くの親子が受 講できるよう便宜を図った。 受講者からは、「絵本を選ぶ自信がついた」、「同 年代の子どもを持つ、ママ友の輪が広がった」と いった感想が寄せられた
26	ボランティア養成講座 (図書館) - 講座の特性 - 人材育成 土田雕 託児 親子参加 - ● ●	図書館での読み聞かせをして頂くことを目的として、定期的に読み聞かせボランティアのための養成講座やスキルアップ講座を開催。 ①「読み聞かせボランティア養成講座」 開催日:8月28日(水)、9月4日(水)、12日(木)全3回 講師:霜田美津子さん ②「ブックトークをやってみませんか」講座 開催日:1月31日(金)、2月7日(金)、14日(金)全3回 講師:北原和代さん	市内在住で 3 回とも に講座が受講可能な 方 定員各回 30 名	①88 名 ②64 名 (託児) ①20 名	5	受講者アンケートの結果多くの方から面白かった・ためになったと肯定的な意見をもらえた。また、養成講座後におはなし会の団体を新規に立ち上げ、受講者に分館でのおはなし会として定期的な活躍の場を提供することが出来た。
27	本の修理講座 (図書館) 講座の特性 人材前成 土田雕 託児 親子参加	市内の図書館や小学校の本の修理をして頂くことを目的として、定期的に修理 本ボランティアのための養成講座やスキルアップ講座を開催。 「初心者向けの本の修理講座」 開催日:1月10日(金)、17日(金)全2回 講師:田中稔さん	市内在住で 2 回とも に講座が受講可能な 方 定員各回 20 名	38名	4	受講後に中央図書館の修理本ボランティアとして登録し本の修理に従事して頂くことで、市民の生涯学習の場を提供するとともに職員の業務負担の軽減につながった。 今後は、ボランティアの技術の向上とモチベーション維持に努める必要がある。
28	防災ボランティアコーディネーター 養成講座、フォローアップ研修 (防災対策課) 講座の特性	大規模災害時、災害ボランティアセンターでボランティアと被災者との調整を行うボランティアコーディネーターの養成とスキルアップを目的に防災ボランティアコーディネーター養成講座及びフォローアップ研修を行った。 ① 養成講座 開催日:9月1日(日)、9月8日(日)、9月22日(日) ② フォローアップ研修 開催日:10月27日(日)、平成26年1月18日(土)			3	養成講座、フォローアップ研修とも、実施日時、 回数などは、適切であると考えています。 フォローアップ研修について、受講者がここ数 年、同じような方の参加になっており、多くの方 に参加いただくよう、研修内容を見直していく検 討をしたいと考えています。